

## 平成19年度「専修学校・高等学校連携等職業教育推進プラン」成果報告書

|           |                      |            |                          |
|-----------|----------------------|------------|--------------------------|
| 事業名       | 乗馬療法と園芸療法で人にやさしい人になる |            |                          |
| 法人名       | 医療法人社団 順心会           |            |                          |
| 学校(（2）のみ) | 関西総合リハビリテーション専門学校    |            |                          |
| 代表者       | 理事長 栗原 英治            | 担当者<br>連絡先 | 山中早苗<br>TEL 0799-60-3600 |

**1. 事業の概要**

1.「乗馬療法で人にやさしい人になる」  
乗馬を通じて心身の悩みをもつ人々の社会復帰を題材にした映画「風のダドウ」の試写会を実施し、動物介在療法を医療としてリハビリテーションに応用する取組みについて考える機会を提供する。

2.「園芸療法で人にやさしい人になる」  
淡路島の豊かな歴史と文化を背景に、自然の花や緑に囲まれた空間で園芸療法の技術や知識を学んでいただき、園芸療法のリハビリテーションへの応用や取組みについて考える機会を提供する。

**2. 事業の評価に関する項目**

①目的・重点事項の達成状況

「乗馬療法で人にやさしい人になる」  
ポニーとのふれあい体験から心身の癒しを実感していただくことができ、さらに感動的な映画の試写会の実施と大変解りやすい人と動物との関わりについての基調講演により、動物介在療法の重要性について充分に知ってもらうことができ、医療への応用についても考えていただける充実かつ満足できる内容であった。

「園芸療法で人にやさしい人になる」  
参加者のほとんどが園芸を体験する機会があまりなかったので、土に触れ癒されたとの声が多く、できた作品を手で包み込むようにして土の感触を楽しむ参加者もいた。また、「部屋に飾りたい」、「家族に見せたい」と大変喜んでいただいたのと同時に園芸療法を通じて作業療法士の職業啓発も行うことができた。

②事業により得られた成果

参加者に乗馬療法や園芸療法について詳しく知っていただくことができた。「園芸療法で人にやさしい人になる」に福祉クラス全員で参加していただいた高校からは今後もこのような事業があれば是非、参加したいのでご案内いただきたいとの要望があった。

③今後の活用

今回も後援をいただいている淡路市、淡路市教育委員会、高校からこのような事業の実施を継続していただきたいとの要望もあることから、今後も体験講座や講演会など専門学校の機能を活かした様々な事業を実施し、さらに高校と連携を深め若年層を対象にした職業意識の高揚を図りたい。

④次年度以降における課題・展開

島内高校との行事調整がうまくいけば、もっと多くの参加者が見込まれるため次年度は開催時期の決定に関し、早期の高校との調整を行いたい。また、ポスター掲示による学生への周知の依頼も早期から計画し行いたい。

### 3. 事業の実施に関する項目

#### ①職業体験講座、講演会の実施

テ　ー　マ　　:乗馬療法・園芸療法のリハビリテーションへの応用を考える機会を提供

期　　間　　:平成19年8月18日、8月25日、10月24日

受講者の属性　:中学生、高校生、大学生、一般

開催場所　:関西総合リハビリテーション専門学校

受講者数　:8/18 55人　　8/25 0人　　10/24 29人

受講者の反応　:アンケート実施

#### ②その他

事業実施にあたって工夫した点として、地元行政機関に対して後援を依頼し、兵庫県淡路県民局、淡路市、淡路市教育委員会の後援をいただき公共施設でのポスター掲示、淡路市の広報誌に参加募集記事の掲載、マイクロバスの提供など全面的に協力いただいた。